

C-90 美作地方における幼児の晴れ着についての調査（第2報）

美作短大 橋本 芳重
○藤本 武子

1. 従来おとなの着用する衣服については種々の研究がなされているが、幼児服については比較的少ない。私達は幼児服の研究の一部として幼児の晴れ着についての実態調査を行なったので結果を報告する。

2. 調査は岡山県津山市およびその周辺の農村地域の林野地点において11月15日（七・五・三の日）各地の神社において、お宮まいりに来た幼児の服装を観察し、かつ、カラーフィルムにおさめ、材質、製作方法については、聞き取り調査を併用した。

3. 観察の対象となった幼児は215名であった。年齢別では3歳児が全体の75.3%を占め5歳児は20.9%であった。又女兒は全体の61.4%を占めていた。服装は女兒は各年齢とも和服姿が圧倒的に多く、男児は女兒と反対に洋服の方が多い。内容としては、男児の和服は羽織袴姿、洋服は衿無半ズボンスタイル。女兒の和服は振袖姿、洋服はベルベットのワンピーススタイルが第1位をしめている。